

# 砂防堰堤整備により土砂・流木を捕捉し、土砂災害を防止する (福岡県朝倉市)

国土交通省 九州地方整備局  
事業者：筑後川河川事務所



筑後川水系赤谷川流域の砂防堰堤群 (杷木松末地区)

## 対策名：1-3 流域治水対策 (砂防)

主たる施策グループ：1-5) 大規模な土砂災害 (深層崩壊、土砂・洪水氾濫、天然ダムの決壊など) 等による多数の死傷者の発生

事業名：筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業

### ポイント

- 平成29年7月九州北部豪雨災害以降、直轄砂防事業にて砂防堰堤等を集中的に整備
- 令和5年7月出水では砂防堰堤等が効果を発揮し、流出した土砂・立木を捕捉、土石流及び土砂洪水氾濫による被害を防止

### 地域の概要・課題

筑後川水系赤谷川流域は、流域面積約20km<sup>2</sup>の支川であり、多数の家屋や公共施設を抱える流域です。

平成29年7月九州北部豪雨においては流域全体で多数の山腹崩壊が発生するとともに、土石流や土砂・洪水氾濫などにより多くの人的被害、家屋の全半壊、床上浸水など、甚大な被害が生じました。

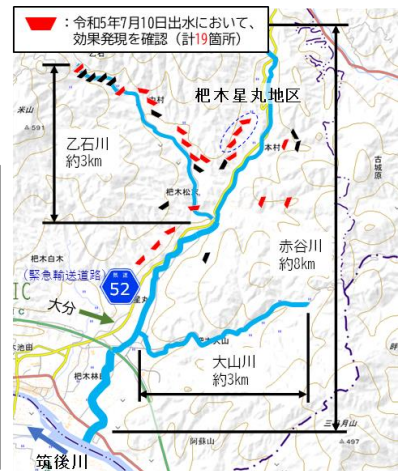
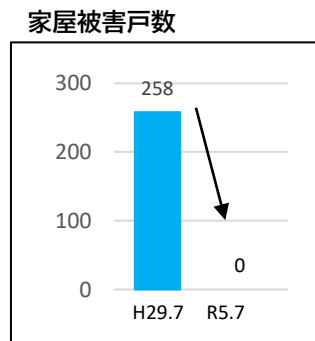
### 事業の概要

平成29年7月九州北部豪雨により、甚大な被害が生じた筑後川水系赤谷川流域においては、福岡県知事の要請等を受け、河川 (県に代わり国が整備)・砂防 (直轄砂防事業) が一体となって事業を進め、早期に地域の復旧・復興が図れるよう事業を進めました。これらの事業により、土石流を捕捉するための砂防堰堤 (えんてい) 等30基を緊急的・集中的に整備し、福岡県に施設移管を行いました。

### 効果

### 効果

令和5年7月9日から7月10日の梅雨前線に伴う出水では、平成29年7月九州北部豪雨と同規模の雨量が観測され、流域全体から大量の土砂・流木が発生しましたが、本事業において整備した砂防堰堤等のうち計19箇所約10万m<sup>3</sup>の土砂・流木を捕捉したことで、土石流および土砂・洪水氾濫による土砂災害を防ぎました。



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
(1) 人命・財産の被害を防止するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンス  
への転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(2) 伝達の高精度化